

## 和歌山病院での実習を終えて



秦 聡

今回、第三内科（呼吸器内科）の実習期間を利用して12月19日・20日にかけて御坊市にある和歌山病院にて実習を行いました。

まず、一番印象に残ったことは南方先生にいただいた胸部X線の読影のセミナーです。このセミナーではX線の画像にできる「線」について、その原理・原則から画像の解釈を教えてくださいました。普段の臨床実習でX線を見る際、「なんとなくはわかるけれど、はっきりと自信を持ってない」といった程度の理解でしたが、原理・原則から「考える」ことにより以前より格段に読影できるようになったと感じます。

南方先生のセミナーを通じて「普段、物事をしっかりと考えられていない」ということも痛感しました。今回、原理を理解していればX線の読影ができるということを実感しました。なので、今後は覚えることに終始せず、「なぜそういう結果になるのか、どういう背景があるのか」、ということ今まで以上に深く考えながら学習していきたいと思えます。

また、駿田先生に結核についてのセミナーをしていただき結核についての理解を深めたのち、結核病棟へ見学させていただきました。結核病棟へ入るにあたり実際にN95マスクを着用させていただきましたが、想像以上の息苦しさを感じました。病棟内の換気についても詳しく解説していただき感染対策について実体験を通じて学ぶことができました。

今回、和歌山病院にて実習させていただきましたが普段とは異なった環境であったこともあり緊張感もありましたが、実際に体験できる多くのセミナーをしていただいたことで楽しく・十分に学習できました。

最後となりますが、日々のご業務でお忙しい中僕たちを受け入れてくださいました、南方病院長をはじめとする和歌山病院の先生方に感謝申し上げます。二日間ありがとうございました。